

【注意】 当地で報道された事案の要旨について紹介しております。閲覧以外の目的で使用する場合、一切責任は負いかねます。また他サイトへの転用、掲載、当ページへのリンク等をご遠慮ください。

カタールにおける事件・事故等の報道

交通関係

○ 交通事故

最近、事故が2件発生し1人が死亡、5人が重傷を負った。死亡事故はドーハ北部のスマイスマ・ロードで発生した。事故は運転手の不注意で起き、車両は横転、1人が死亡し同乗していた3人が病院に搬送された。またビンオムラン地区ではスピードの出し過ぎによる正面衝突により、双方の運転手が重傷を負った。

ドーハ第一審裁判所は、昨年重大事故を起こした外国人トレーラー運転手に対し、6ヶ月の禁固刑と54万QRの賠償金の支払いを命じた。事故はトレーラー運転手の不注意により発生し、ランドクルーザーを運転していた19歳の少年が死亡し、同乗者の21歳の男性に重傷を負わせた。判決では被告人と保険会社に対し、死亡した少年の家族に15万QRのブラッドマネーを支払うようにも命じた。

事故はメサイドの北約8キロの地点で起きた。調書によれば事故の原因は、トレーラーが必要な注意を払わずに左折したことにより、正規のコースを走っていたランドクルーザーを巻き込んだことによるという。ランドクルーザーは事故の衝撃により数回横転した。

外国人運転手（21歳）が、7歳の少年を轢きケガをさせたとして1万QRの罰金と免許停止1ヶ月を科せられた。またドーハ第一審裁判所は、男と保険会社に対して、少年の両親に対して慰謝料として合計3万2千QRを支払うよう命じた。事故はラヤン地区のアル・シャフィ通りで発生した。

カタール北部の道路において、側道から本線に合流しようとしたピックアップ車が、本線を走行していたランドクルーザーと衝突、ランドクルーザーに乗車していた男性3人の内、1人が死亡した交通事故の裁判で、今般、裁判所は、ピックアップ車を運転していた外国人の男（22歳）に対して、禁固1ヶ月及び罰金1万QRの判決を下すと共に、死亡した男性の遺族に対して保険会社と連帯してブラッドマネー20万QRを支払うように命じた。なお、男は事故の後、車で現場から逃走していたが、事故現場に舞い戻って野次馬の中に紛れていたところを逮捕された。

ドーハ市郊外シャーハニーヤ地区において、それぞれ外国人の男が運転する車2台が衝突、一方の車が横転し、この車に乗っていた外国人男性1人が死亡し、別の外国人男性1人が重傷を負った交通事故の裁判で、ドーハ第一審裁判所は「本件事故の原因は双方の運転手にある」として、2人にそれぞれ罰金2万QR及び運転免許停止2ヶ月の判決を言い渡した。また、同裁判所は2人に対して保険会社と連帯して、死亡した男性の遺族にブラッドマネー20万QRを支払うように命じた。

ドーハ市郊外サルワ道路沿いの中央市場前において、男（17歳）が運転する車が、付近を通行中であった外国人男性（54歳）をはねて重傷を負わせた交通事故の裁判で、ドーハ第一審裁判所は男に対して、執行猶予付き禁固1ヶ月及び罰金1万QRの判決を下すと共に、合わせて被害者に補償金10万6千QRを支払うよう命じた。なお、事故発生当時、男は父親を助手席に乗せて運転の練習を行っていた。

深夜にドーハ市郊外インダストリアル・エリアにおいて、外国人の男が運転する車がラウンドアバウト内の分離壁に接触し、そのはずみでコントロールを失って付近で駐車中のトレーラーに激突、トレーラーに乗っていた外国人男性2名が死傷した交通事故の裁判で、ドーハ第一審裁判所は「本件事故の発生原因は、男の無謀運転である」と判示して、男に対して罰金1万QR、死亡した男性の遺族に対するブラッドマネー20万QRの支払いを命じた。

オールド・ラヤーン地区の対面通行道路において、外国人の男が運転する車が前方車両を無理に追い越そうとして対向車線にはみ出した際、対向車線を走行してきた別の外国人の男が運転する車と正面衝突、双方の運転手が軽傷を負い、それぞれの車の同乗者が重傷を負った交通事故の裁判で、今般、ドーハ第一審裁判所は「事故の責任は無理な追い越しを行った男にある。他方、対向車線を走行していた男についても、猛スピードで車を運転しており、追い越しを行った男と同等の過失がある」と判示して、双方に罰金1万QR及び運転免許停止2ヶ月の判決を言い渡した。

ドーハ市ウナム・サラール地区において、外国人の男が運転する車が、別の外国人男性が運転する車両に激突、はずみで男性の車両が道路脇のフェンスに突っ込み、同男性が重傷を負った交通事故の裁判で、裁判所は男に対して、罰金1万QR及び男性に対する補償金1万2千QRの支払いと、運転免許停止3ヶ月の判決を言い渡した。

ドーハ市北マイセール地区において、男(21歳)が運転する車が、付近を歩行中の外国人男性(67歳)をはねて死亡させた交通事故の裁判で、ドーハ第一審裁判所は、事故の原因は男のスピードの出し過ぎであると判示して、男に対して罰金3万QR及び運転免許停止3ヶ月の判決を下すと共に、男性の遺族に対してブラッドマネー20万QRを支払うように命じた。なお、同裁判所は男の年齢が若いことと、遺族がブラッドマネーの受け取りに同意していることを理由に、男に対する禁固刑は免除した。

ドーハ市ムシェイレブ地区において、外国人の男が運転する車が、付近の道路を横断していた外国人男児(7歳)をはねて負傷させた交通事故の裁判で、ドーハ第一審裁判所は、事故の原因は男の無謀運転にあるとして、男に対して執行猶予付き禁固1ヶ月及び罰金6千QRの判決を下すと共に、男児に補償金2千QRを支払うように命じた。

ドーハ市アル・カイサ地区において、男(23歳)が運転する車が、付近の道路を横断中の外国人男性3人をはねて、1人を死亡させ、2人を負傷させた交通事故の裁判で、ドーハ第一審裁判所は「事故の主たる原因は男の無謀運転である」と判示して、男に対して執行猶予つき禁固6ヶ月及び罰金1万QRの判決を下した。また、同裁判所は、男に対して死亡した男性の遺族に対してブラッドマネー15万QRを支払うように命じた。

ドーハ市ビン・マフムード地区において、外国人の男が運転する車が、付近の道路を通行中の外国人男性2名をはねて軽傷を負わせた交通事故の裁判で、今般、裁判所は「男の無謀運転が事故の原因である」と判示して、男に対して罰金1,000QRの支払いを命じた。

メサイード市内の交差点において、外国人の男(31歳)が運転する車が赤信号を無視して交差点に進入、別の方向から走行してきた無免許の外国人の男(54歳)が運転する車と衝突。

無免許運転の外国人の男と、この男が運転する車に同乗していた外国人男性2名の合わせて3名が負傷した交通事故の裁判で、ドーハ第一審裁判所は、事故の主たる原因は赤信号を無視した外国人の男にあるとして、この男に罰金1万QR及び運転免許停止3ヶ月の判決を言い渡した。また、

無免許で車を運転していた外国人の男にも罰金 1 万 Q R の判決を下した。

ドーハ市内アラブ銀行ラウンドアバウト付近において、外国人の男（28 歳）が運転する車が、歩行中の外国人男性（49 歳）をはねて負傷させ、そのまま走り去った交通事故の裁判で、裁判所は男に対して、罰金 2 万 Q R 及び運転免許停止 6 ヶ月の判決を下した。

○ 飲酒運転

外国人の女が酒を飲んで車を運転した後、この車のエンジンをかけたまま車内で酩酊していたところを警察官に発見された事件の裁判で、今般、ドーハ第一審裁判所は女に対して、飲酒行為について罰金 3,000 Q R、飲酒運転について罰金 5,000 Q R の判決を言い渡した。なお、同裁判所は「被告には再犯のおそれはない」と判示して禁固刑については執行を猶予する判断を下した。

ドーハ市内において、外国人の男（36 歳）がドーハ市内のホテルで飲酒した後、車を運転してワクラ市内にある自宅に向かう途中、ハンドル操作を誤って中央分離帯の街路樹に激突し、事故の通報を受けて現場に駆けつけた警察官に飲酒運転罪で検挙された事件の裁判で、裁判所は男に対して禁固 3 ヶ月及び罰金 2 万 Q R の判決を下した。

外国人の男（36 歳）が、酒を飲んだ後に車を運転していたところをパトロール中の警察官に発見され逮捕された事件の裁判で、ドーハ第一審裁判所は男に対して、飲酒運転について禁固 1 ヶ月及び罰金 1 万 Q R、飲酒行為について鞭打ち 40 回の判決を言い渡した。